

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2023-2024

地区活動報告書

「今こそ変わる勇気を！
さあ、一歩前へ」

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
写真で見る一年	4
釧路北ロータリークラブ創立65周年記念	23
帯広東ロータリークラブ創立40周年記念	24
各ガバナー補佐活動報告	25
各委員会報告	33
一年間の行動表	52
新入会員の紹介	56
ロータリー財団寄付者報告	57
米山功労者報告	57
例会出席率及び会員数推移	58



ガバナーメッセージ

2023-24年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー

鶴見 誠一郎

(紋別港RC)

2023-2024 年度 ガバナー月信 ～最終章～

ロータリーのガバナー月信は、地区ガバナーが毎月発行するニュースレターのことを指します。この月信では、ガバナーが地区内のクラブやメンバーの皆様に向けて、最新の情報や重要なメッセージを伝えるために作成されます。内容はさまざまであり以下のような要素が含まれることが一般的です。

★ガバナーからのメッセージ

- ・月ごとの挨拶
- ・地区の状況や進捗報告
- ・ガバナーのビジョンや目標

★地区の活動報告

- ・各クラブの活動やプロジェクトのハイライト
- ・地区内で行われたイベントや会合の報告

★今後の予定

- ・重要な会議やイベントのスケジュール
- ・ラーニングに関するセミナーなどの案内

★メンバー（会員の皆さん）の動向

- ・新メンバーの紹介
- ・メンバーの功績や受賞の報告

★国際ロータリーニュース

- ・国際ロータリーに関する最新ニュースや情報
- ・国際的なプロジェクトやキャンペーンの紹介

★重要なお知らせ

- ・規則や規程、方針の変更

★参考資料やリンク

- ・役立つリソースやリンク集
- ・関連するドキュメントのダウンロードリンク

2023-2024 年度も、関係各位のご協力により上記内容におおよそ基づき情報を発信させていただきました。地区役員の方々やクラブ様から多くの原稿を頂戴しました。ご協力に心より感謝申し上げます。本紙をもちまして、同年度のガバナー月信は最終となります。ご購入たいへんありがとうございました。

すでに 2024-2025 年度のガバナー月信が配信されておりますが、私自身相当期待しております。小谷ガバナーは引き出しが多い方です。ぜひ楽しんでお読みください。

写真で見る一年



各委員会活動



米山奨学委員長セミナー 2023年6月13日



地区補助金申請会議 2023年6月25日



ロータリー財団セミナー 2023年7月23日



米山学友 第3回世界大会
2023年8月5日



ロータリー財団補助金セミナー 2023年10月22日



パキスタンでのポリオ根絶活動
(チームポリオジャパンのメンバーとして)
2024年2月10～14日

周年記念事業



網走西ロータリークラブ50周年 2023年8月5日



網走ロータリークラブ70周年 2023年11月11日



美深ロータリークラブ60周年 2024年4月21日



北海道2500ロータリーEクラブ10周年 2024年5月17日

地区大会(1日目) 10月7日(土)

RI会長代理・ガバナー 地区役員懇談会

■10月7日(土) 16:00～ ■ホテルオホーツクパレス



RI会長代理 歓迎晩餐会

■10月7日(土) 18:00～ ■ホテルオホーツクパレス



姉妹地区 (RI第3590地区) 歓迎会

■10月7日(土) 19:40～ ■ホテルオホーツクパレス



地区大会 (2日目) 10月8日(日)

本会議

■10月8日(日) 10:00～ ■紋別市民会館大ホール



ガバナー挨拶



RI会長代理挨拶



RI特別表彰



地区表彰



RI会長代理へ記念品贈呈



直前ガバナーへ記念品贈呈



地区表彰



前年度ガバナー補佐へ感謝状進呈



記念講演



ガバナーエレクト挨拶



米山記念奨学生



閉会宣言

記念懇親会

■10月8日(日) 17:20~ ■紋別市民会館小ホール

ホテルオホーツクパレス
紋別プリンスホテル



地区チーム研修セミナー (2024年3月2日)



会長エレクト研修セミナー (2024年3月3日)



PETS / 地区研修協議会 (2024年4月14日)



地区役員



地区役員



地区研修・協議会



ガバナー挨拶



ガバナーエレクト国際協議会報告・
地区活動方針



基調講演



第1分科会



第2分科会



第4分科会

シンガポール国際大会 (2024年5月24~29日)



各分区インターシティミーティング



第1分区IM 2024年5月11日



第2分区IM 2024年5月18日



第3分区IM 2024年4月20日



第4分区IM 2024年4月6日



第5分区IM 2024年3月31日



第6分区IM 2024年3月30日



第7分区IM 2024年3月16日



第8分区IM 2024年3月23日

ガバナー公式訪問

音別ロータリークラブ



2023年7月10日

釧路西ロータリークラブ



2023年7月10日

釧路東ロータリークラブ



2023年7月11日

釧路ベイロータリークラブ



2023年7月11日

釧路北ロータリークラブ



2023年7月12日

釧路ロータリークラブ



2023年7月13日

白糠ロータリークラブ



2023年7月14日

釧路南ロータリークラブ



2023年7月14日

ガバナー公式訪問

芽室ロータリークラブ



2023年7月18日

音更ロータリークラブ



2023年7月19日

帯広ロータリークラブ



2023年7月19日

厚岸ロータリークラブ



2023年7月24日

根室ロータリークラブ



2023年7月25日

根室西ロータリークラブ



2023年7月25日

別海ロータリークラブ



2023年7月26日

中標津ロータリークラブ



2023年7月26日

ガバナー公式訪問

浜中ロータリークラブ



2023年7月27日

弟子屈ロータリークラブ



2023年7月28日

帯広南ロータリークラブ



2023年7月31日

広尾ロータリークラブ



2023年8月1日

帯広東ロータリークラブ



2023年8月1日

上士幌ロータリークラブ



2023年8月2日

足寄ロータリークラブ



2023年8月2日

帯広西ロータリークラブ



2023年8月3日

ガバナー公式訪問

清水ロータリークラブ



2023年8月3日

帯広北ロータリークラブ



2023年8月4日

士別ロータリークラブ



2023年8月7日

中頓別ロータリークラブ



2023年8月8日

名寄ロータリークラブ



2023年8月8日

枝幸ロータリークラブ



2023年8月9日

興部ロータリークラブ



2023年8月16日

遠軽ロータリークラブ



2023年8月17日

ガバナー公式訪問

雄武ロータリークラブ



2023年8月18日

稚内南ロータリークラブ



2023年8月21日

豊富ロータリークラブ



2023年8月21日

利尻ロータリークラブ



2023年8月22日

利尻島ロータリークラブ



2023年8月22日

稚内ロータリークラブ



2023年8月23日

礼文ロータリークラブ



2023年8月23日

天塩ロータリークラブ



2023年8月24日

ガバナー公式訪問

美深ロータリークラブ



2023年8月25日

留辺蘂ロータリークラブ



2023年8月29日

滝上ロータリークラブ



2023年8月30日

美幌ロータリークラブ



2023年8月31日

網走西ロータリークラブ



2023年8月31日

網走ロータリークラブ



2023年9月5日

清里ロータリークラブ



2023年9月6日

斜里ロータリークラブ



2023年9月6日

ガバナー公式訪問

北見ロータリークラブ



2023年9月8日

北見東ロータリークラブ



2023年9月8日

北見西ロータリークラブ



2023年9月8日

美瑛ロータリークラブ



2023年9月11日

富良野ロータリークラブ



2023年9月14日

旭川ロータリークラブ



2023年9月15日

旭川空港ロータリークラブ



2023年9月19日

旭川北ロータリークラブ



2023年9月20日

ガバナー公式訪問

旭川モーニングロータリークラブ



2023年9月21日

旭川東ロータリークラブ



2023年9月21日

旭川南ロータリークラブ



2023年9月25日

北海道2500ロータリーEクラブ



2023年9月25日

旭川西ロータリークラブ



2023年9月26日

旭川東北ロータリークラブ



2023年9月27日

上川ロータリークラブ



2023年9月28日

紋別ロータリークラブ



2023年9月29日

ガバナー公式訪問

紋別港ロータリークラブ



2023年10月3日

インターアクト地区大会 (2024年5月11,12日)



集合写真



記念講演



懇親会

ローターアクト地区大会 (2024年6月1日)



集合写真



大会風景

歴史と伝統をつなぐ

釧路北ロータリークラブ創立65周年を野村万作氏と共に

釧路北ロータリークラブ 会長 菊池 美恵子
(釧路北RC)

1958年国際ロータリークラブに加盟認証されて以来65年。地域、世界貢献、平和構築を願う様々な奉仕活動に邁進した参りました釧路北ロータリークラブは我が国の伝統文化の理解と広い知識を備えた資質高きロータリアンでありたいとの思いをもってこの節目の年を迎えました。

ここに記念事業として65年にあたり、日本が世界に誇る伝統文化として笑いと共に人々の心を魅了し続けてきた「狂言」の第一人者であり2023年には文化勲章を受賞されました 人間国宝「狂言方と泉流能楽師 野村万作」氏をお迎えして「狂言の伝統と継承 志の先にある未来につなぐ想い」と題する講演会を2500地区鶴見誠一郎ガバナー、久木佐知子副ガバナー御臨席のもと開催いたしました。万作氏が一般向けに公演を行うのは珍しいとのことでしたが、釧路北ロータリークラブ創立記念をことほぎ快諾頂きまことはロータリークラブ会員一同はもとよりと共に参加した500名あまりの釧路市民にとっても大きな喜びとなりました。

講演の中で万作氏は狂言が疲弊していた時代の中での芸歴のスタート、歌舞伎に傾倒していった時代を経て狂言の道へ。そしてその後狂言役者の枠組みを超え現代劇や前衛劇に多数出演するなど起伏にとんだ芸の軌跡を振り返られました。また狂言の本質が理解されず喜劇的なものに対する評価の低さにたまらず戦後一貫して狂言の普及と地位向上に努め、世阿弥が狂言に求めた品ある上質な芸術を目指したとのことでした。

狂言の真髄を「一に美しくあれ、二に面白くあれ、可笑しくあれ」と、先ず美しさが先になくて

はならない、身体的美しさ、所作の美しさは言葉を越えて生命力そのものまで見せつける。その「たたずまい」に存在感を見出す日本の感性に世界が共感するのを肌で感じるとのことでした。

そして、様々な演劇の経験、素晴らしい演出家、舞踏家、尊敬する俳優との出会いは狂言をやるための資質を作り上げるための礎だったと振り返る。

新作をやったことが古典をやる中に反映されている、そこが父の芸との違いと語る万作氏。

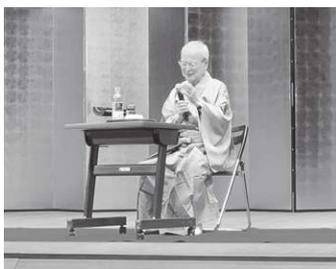
受け継がれてきた伝統と教を縦糸に、新時代を切り拓く挑戦を横糸に、古いように見えて新しい、新しいようで趣潜む布を見事に時代を重ね織り上げていく万作氏の姿は私達ロータリアンの理想とする姿でもあります。

令和6年6月御年93才を講演四日後に迎えられる野村万作氏は自分とはまた違う新しき道を模索しつつ逞しく突き進んでいく御子息萬斎氏を横目に自身のさらに進む道を古い狂言を掘り起こしていくという道にかじ取りをしつつ600年以上続く狂言の継承もされとのこと。

狂言の中に「人間の真実よ、美しくあれ」と今、万作氏は和泉流のみに伝承される狂言「川上」の世界観を後世に伝承すべく記録映画を制作しようとしている。

益々目が離せない万作氏である。これからも万作氏の舞台を見る機会があっても直に生で話を聞くことは稀なことということで、このご縁の「御褒美」に私たちは感謝しこれが「人との絆の輪」となり拡がることを願います。

野村万作氏と創立65周年を共にお祝いくださった皆様に感謝御礼申し上げます。 弥栄。



〈野村万作氏 プロフィール〉

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者、日本芸術院会員。2023年文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストファザー賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞等多数の受賞歴を持つ。

地区補助金事業報告

史跡標示版設置と史跡を巡る事業

帯広東ロータリークラブ 会長 池田 誠
(帯広東RC)

帯広東ロータリークラブでは、地区補助金を活用し「史跡標示版設置と史跡を巡る事業」を、創立40周年記念事業として実施しました。この事業は市民や観光客に帯広のまちなかの歴史を知ってもらい、子供たちが郷土に対して関心を持つ機会を持ってもらう一助として、帯広の歴史に名を遺した3名の史跡表示板を設置、小学校の課外授業で標示板の解説を行ったものです。

3枚の標示板には、①帯広開拓の祖「依田勉三」②作曲家で映画館の音楽演奏担当をしていた「万城目 正」③帯広出身の歌人「中城ふみ子」を選択、依田勉三が亡くなった依田農具店跡、万城目正がピアノを演奏していたキネマ館跡、中城ふみ子が通って歌にも詠んだ若松湯跡と、ゆかりの地に設置。掲示する内容は、帯広百年記念館の協力を得ました。依田勉三の命日である2023年12月12日、依田農具店跡の標示板にて除幕式を開催、2024年5月23日には

帯広小学校4年生27名が参加した「帯広まちなか歴史案内板を巡る課外授業」を実施。講師に帯広百年記念館の、大和田 努学芸員を招き、歴史案内板を活用しながら帯広の歴史を解説、「開拓の大変さを知れた」「知らなかった昔の帯広について勉強になった」未来を担う子どもたちが興味をもって感想を述べてくれる。とてもうれしく思いました。この課外授業の様子は十勝毎日新聞、帯広シティケーブルテレビ北海道新聞、毎日新聞と多くの報道機関も関心を持ち取材、報道されました。

一連の事業は、6月15日に開かれた、創立40周年記念式典の席上、帯広市に寄贈し、米沢則寿市長より感謝状を授与されました。

我々が住む街の歴史を多くの人に知ってもらおうと、前年度の「帯広市まちなか案内図」から始まったこの事業、道行く人が足を止めて歴史案内板を見る姿を目にすると、歴史を伝え遺す大切さを思わずにはいられません。



1年間を振り返って



第1分区ガバナー補佐

吉川 勝
(稚内RC)

ガバナー補佐としての大役をお引き受けしこの6月30日をもってようやくその役目が終わろうとしています。

鶴見ガバナー年度より新しい試みで 次期のガバナー補佐が主導して各クラブを事前訪問しクラブ協議会を行うようにとの事で補佐をお引き受け後ただちにその準備に入りました。

各クラブにその旨お伝えし開催のお願いをしたところ全クラブの皆様が非常に協力的でスムーズに行う事が出来ました。ただ1点 地域柄礼文・利尻 両島の場合は6月は昆布・ウニ等の最盛期という事情もあり私もわからないままお願いしましたが今後の開催の時期を各クラブの事情に合わせての選定も必要ではないかと感じました。

各クラブとも鶴見ガバナーの方針を全て理解して頂きスムーズに行えたことには各クラブの皆様へ改めて感謝申し上げます。

10月の紋別の地区大会には忙しい中第1分区の会員の皆様には多数ご参加頂き（但し礼文の会員の方は前日の悪天候のためにフェリーが全便欠航になり参加が出来なかったことは残念ですが仕方ありません。）

この事にも深く感謝申し上げます

1年を振り返り 補佐の大役をお引き受けしなければ出来なかった楽しい経験も沢山ありました。

特にガバナー公式訪問時は 礼文・利尻両島の皆様にはこれでもかと云うほどおいしい海の幸を頂き 特に ウニ尽くしの歓迎には一生の思い出になりました。

またこの地域では珍しいほどに天候に恵まれ素晴らしい景色のお土産も頂きました。

当初はこの補佐をお引き受けするときには若干ひるんだこともありましたが

鶴見ガバナーの スローガンでもある

「今こそ 変わる勇気を さあ 1歩前へ」

まさに経験したことのない事に挑戦しやり遂げることが このスローガンと思いました。

そんな意味では この経験が 1歩前に進めたのかなと思えるようになりました。

最後に 他分区の補佐の皆様にも色々ご指導頂きこの場をお借りし感謝申し上げます。



1年間を振り返って



第2分区ガバナー補佐

園 部 一 正
(美深RC)

2022年10月8日(土)にアートホテル旭川にて次年度ガバナー補佐研修会議に参加させて頂いたのが、私のガバナー補佐としての努めの始まりでありました。当時は2022-2023年度のガバナー補佐の皆様方が、ガバナー補佐の任にあたっていました。我々次年度ガバナー補佐達も幾度と会議・研修会・オンラインも含め重ねているところでした。

また、鶴見ガバナーエレクトの方針として2023-2024年度の公式訪問は例年実施していましたクラブ協議会はガバナー補佐が主体となって公式訪問の前に実施しておく取り決めとなったことで、入会歴30年の私としても初めての経験でした。その為には数多くの分区内のクラブ訪問をより以上数を重ね訪問する事になりました。

そして、ガバナー公式訪問の際にはガバナーとの意見交換の時間を多くとることをしていくということになりました。

ただし、当時2022-2023年度のガバナー補佐の皆様が当然活動しており、多少私自身混乱していたのも事実でした。いずれにしましても、ガバナー補佐就任に際しての方針としては、鶴

見ガバナーが提唱するスローガン・地区活動方針の下、ガバナーに寄り添い第2分区の各クラブの皆様方と共にガバナーをご支援させていただくとの考えを示させて頂いたこともあり、鶴見ガバナーにとにかく寄り添っていくこととしました。

過去、私が目にしてきたガバナー補佐としての活動とは比較にならないほどの忙しさでもありましたが、日を追うごとに従来以上 分区内のロータリアンの皆様と多くの親睦を図ることも出来ましたし、この1年を振り返りますと自分が在籍しているクラブの創立60周年記念の年度に第2分区のガバナー補佐として参加できたことは、この上ない喜びでもありました。

また、ガバナー補佐としての在任中に多くのクラブ及びロータリアンの皆様方に大変お世話になりました事に心からお礼と感謝を申し上げます。

最後に2024-2025就任される2500地区の各分区のガバナー補佐の皆様方のご活躍は下より、ご健康でありますよう心よりお祈り申し上げます。

1年間を振り返って



第3分区ガバナー補佐

新 田 守

(旭川RC)

補佐としての1年

色々な事を教えてもらい、ロータリーの事を少〜し知る事が出来ました。(と勝手に思っています。)

私は入会してからの日頃のロータリー活動でRIの事を意識する事はありませんでした。

クラブの仲間と週1回の例会で会話と会食を楽しみ、ゲストの卓話を聞く。

大切な1時間の例会です。

ロータリーは楽しいなあと思って過ごして来ました。

ロータリーは奉仕団体である事、世界にまたがる巨大な組織である事、世界ではほかの団体ではとても出来ないと思われる良い奉仕活動をしている事などは入会をしてから徐々に知る事になりました。

補佐の1年、第3分区の各クラブを訪ねて、旭川クラブ以外のクラブの雰囲気を知る事も出来ました。

RI会長の年度方針を踏まえてのガバナーの年度方針、それを尊重してのクラブ会長によるクラブの活動方針。

実情に合わせたクラブ運営、よく練り上げられた組織であると感心します。

初対面の人でも相手がロータリアンである事が分かって笑顔になり、心のハードルが下がります。

半面、世界的に会員数が減って来ている昨今、「今のRIは金集めだけに傾注している。今のRIは腐っとる！」と言われた古参のロータリアンがいる例会に参加した事があります。

私はただ「そうですか・・・。」としか答え

ることが出来ませんでした。

ロータリー活動を長年続けて来た、大先輩が感じているのですから、私はそれに対して、何と答えるのが良かったのか、今でも考えています。

歴代のRI会長の年度方針やそれを語る言葉、想像できるその人間性は誠に素晴らしい人と思っています。

世界大会に参加をして、世界のガバナーエレクトと語り合い、日本の34人のガバナーエレクトと連携をとり、各地区にその思いを伝えるガバナーの皆様、真剣にロータリーに向き合っ活動する34名の日本のガバナーの皆様、本当に大変ながら有意義な経験を積む1年の任期であると思います。

自分に話を戻すと、自分のクラブだけではなく、2500地区の中ではありますが、色々な方々と言葉を交わす機会を戴いて自分の世界が広がったように思っています。

久木副ガバナーが地区を飛び出して、日本または世界に行くと違った景色を見る事ができますよ。との言葉、本当にそうだと思います。

「今のRIは腐っとる！」と感じているロータリアンもいますが、私はそうは思っていません。

2年後に船出を迎える山本倫生ガバナー年度が良い年度、素晴らしい年度になるように支えて行きたいと思っています。

旭川ロータリークラブの皆様、地区のクラブの皆様、同期の補佐の皆様、そして鶴見ガバナー、1年間誠にありがとうございました。

1年間を振り返って



第4分区ガバナー補佐

伊藤 晴之
(紋別RC)

国際ロータリー第2500地区第4分区ガバナー補佐として、1年間務めさせていただきました、紋別ロータリークラブの伊藤晴之です。

一年間、鶴見誠一郎ガバナーには、大変お世話になりました。又、2500地区内のガバナー補佐の皆様にも大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。更には、第4分区内の会長・幹事さん始め、多くのロータリーのメンバーにも深くお礼を申し上げます。皆様に支え

ていただき何とかこの時期を迎えられ今は、何とか無事に終了出来ましたことに嬉しく思うとともに感謝申し上げます。最後に私を支えて下さった、紋別ロータリークラブの皆様、更には、IM実行委員長・IM幹事には、大変お世話になりました。

最後になりますが、お世話になりました皆様に、一年間の感謝とお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

1年間を振り返って



第5分区ガバナー補佐

河 口 高
(清里RC)

最初に5分区のロータリアン皆様へ感謝と御礼を申し上げます。

2023-2024年度ガバナー補佐を務めるにあたり活動期間が20ヶ月と云われ不安の中スタートしたと思ひ出されます。

ガバナー補佐の役割を研修、Webを通し学びさせていただきました。

自分のロータリー歴が希薄でとても皆様への役割を果たす事が心配でしたが各クラブの皆様が温かく見守って頂いた事、思い出されます。

「今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ」鶴見ガバナーのリーダーシップのもとプログラムが動き出した事、9クラブそれぞれ個性がありロータリーへの熱い思いを感じました。

クラブ協議会の理解をいただきありがとうございます。協議会が各クラブでより発展的展開になるようガバナー補佐の役割は今後の活動への継承が大切であり負担も大きいと思ひます。プログラムが進化する事は会員の多様化、会員増強への一つでもあります。

出席の大切さと多様性の基本は大きな目(視

野)、大きな耳(聞く力)に触れさせていただきました、計画(目標)が行動への一歩です、親睦を通し皆様のご努力を実感しました。

北見で開催された「RYLA」セミナー、大変熱い思いが伝わりました、開催関係者の素晴らしい対応に敬服しました。

私達は「国際ロータリークラブ」の一員です。世界で多くのロータリアンが活動しています。ロータリー財団への寄付は大切な活動資金です、理解する大きな心を育む事も大切です。

各ロータリークラブが少しでも発展していく事は地域での価値となります、ロータリーを楽しみながら過ごしたいと思っています。

今回他の分区のIMに出来る限り参加させて頂きました、それぞれの特徴、工夫などを次の松浦ガバナー補佐へ参考になればと伝えていきます。

2023-2024ガバナー補佐を務めさせていただき皆様に感謝申し上げます。

各クラブのご盛栄と会員皆様のご健勝を祈念し挨拶とさせていただきます。

1年間を振り返って



第6分区ガバナー補佐

田中 義博
(音更RC)

2022年8月、当時の鶴見ガバナーエレクトから「ガバナー補佐受諾のお礼と今後のご案内につきまして」の文章をいただき、地区による補佐研修とMy Rotary「ガバナー補佐の基本」をオンデマンド方式で受講しました。翌年1月、国際ロータリーより鶴見ガバナーエレクトから「ポリオプラス小委員会委員長」と「ガバナー補佐」に任命されるとMailで報告があり、3月には委嘱状が交付され、この重責に身が引き締まる思いになりました。

補佐就任にあたり、その抱負を地区活動計画書で、「ガバナーおよび地区委員会と11クラブのパイプ役として誠心誠意努めます」、「元気なクラブづくりのために、クラブの自主性を尊重しクラブ会長・幹事とともに考え活動して

参りたい」と述べましたが、その可否は第6分区の皆様の評価次第となります。

補佐のクラブ訪問は、講話のテーマを決めてZoom訪問1回を含めると4回、当該年度前の事前訪問（クラブ協議会）とガバナー公式訪問同行を合わせると計6回訪問いたしましたが、いつも温かく迎えていただいた11クラブの皆様には衷心よりお礼を申し上げます。

最後に、フレッシュな鶴見ガバナーならびに小林地区幹事そして気が置けない他分区補佐7名との出会いは私の人生の宝物となりました。補佐として大変貴重な体験をすることができましたので、最終クラブ訪問では推薦いただいた音更クラブと第6分区の皆様には感謝を申し上げます、補佐を是非経験するように勧めました。

1年間を振り返って



第7分区ガバナー補佐

佐 渡 正 幸
(釧路北RC)

本年度鶴見ガバナーのご指導のもと、第7分区のガバナー補佐を務めさせていただきました、釧路北RCの佐渡正幸です。地区役員、分区内の会員の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様にご理解・ご協力を賜りましたことに、感謝御礼申し上げます。特に同期のガバナー補佐の皆様には、特段の深い友情と固い絆を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

本年度鶴見ガバナーは、「今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ」という地区スローガンを掲げられ、行動することに意味があり、みんなでロータリーを楽しみましょう！！という強い信念の基に活動されたと思います。その活動の表れとして、最初にガバナー補佐による事前のクラブ協議会の実施があったと思います。地区内においては今までに例を見ないことであったので、地区内の会員から様々な意見もあり、またガバナー補佐内においても今まで全く経験もないことであり、多少の戸惑いがありましたが、若きガバナーの強い想いをガバナー補佐全員で

支えていきたいと思います、ガバナー補佐研修会議で決定した瞬間を、今でも鮮明に覚えています。何か得体のしれない大きな壁を、ガバナーとガバナー補佐が一緒になって乗り越えた達成感が、ガバナー補佐の絆をより強固にしたのかと思います、改めて鶴見ガバナーのリーダーシップの強さに感銘を受ける次第です。地区の歴史においても最年少のガバナーであり、私も同期のガバナー補佐の中では一番最年少でしたので、お互いあだなで呼び合うほど仲良くさせて頂きました。2025～26年度に私がガバナーを務めることになりましたが、今後ともご指導を頂きたい、また深い友情を築ければと思っております。

紙面の関係で分区の事業の詳細は書けませんが、会長・幹事会、地区補助金事業、IMなど分区の事業にご理解・ご協力頂きました7分区の会長・幹事様に心より感謝申し上げます、ガバナー補佐を振り返ってのご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

1年間を振り返って



第8分区ガバナー補佐

楠 瀬 功

(別海RC)

令和4年9月23日(秋分の日)2023～2024年度ガバナー補佐会議・研修ズーム会議をスタートし実質1年9か月に及ぶ初めて尽くしの「ガバナー補佐」の任務に大きな戸惑いでの不安に包まれた自分がいました。パストガバナー補佐にお聞きしても「自分の時には無かった」の言葉で助言を得ることもままならず不安が増しました。

後の会議で「この変更は以後のガバナーも継承する」との確約を得て、8名のガバナー補佐も一致協力して鶴見ガバナーについて行く意思統一ができたように思いました。

12月から、鶴見ガバナーの路線変更説明に第8分区7クラブを初めて訪問しました。まだ、会長・幹事も交代していない中でしたが、どのクラブも温かく迎えて頂き「次年度のガバナー補佐は大変ですね」の労いの言葉にほっとしたことを思い出します。

5月には「クラブ協議会」に出席、活動計画書作成についての説明をお聞きして各クラブの歴史・伝統について、また会長さんの熱い思いに触れ感激しました。第8分区7クラブが期日までに活動計画書完成・送付完了して頂きまし

た。7月4日から3回目の訪問は、ガバナー補佐表敬訪問でした。今まで温かく迎えて頂いたお礼の意味で、7クラブの名を入れた歌をいちい(オンコ)の板に彫りプレゼントしました。

7月10日、厚岸RCから鶴見ガバナー公式訪問がスタート、7月28日、弟子屈RCを最後に無事終了。鶴見ガバナーのクラブ助言をお聞きして「鶴見年度の前倒しスタート」の意味が理解できました。クラブ毎に助言の内容が違うのです。過去の、パワーポイントで同じ内容・同じ言葉での説明から、クラブの伝統・歴史を踏まえてクラブに合った内容で話され目から鱗が落ちた瞬間でした。ガバナー補佐としての最後の大事な仕事はIMです。3月23日(土)第8分区会員の皆様が大量出席して下さい、鶴見ガバナー・小林地区幹事様を始め、他分区ガバナー補佐の皆さんも参加下さり、出席できなかった皆様には、祝電を送付頂き同期ガバナー補佐の友情に支えられたIMでした。改めてご協力頂きました皆様にお礼申し上げます。ガバナー補佐として、不安でスタートしましたが、沢山の「ロータリーの友」と言う財産を得て感謝申し上げます。

1年間を振り返って



公共イメージ向上委員会

委員長 渡 辺 喜代美
(帯広RC)

ゴードン国際ロータリー会長が2023-24年度の会長テーマ「世界に希望を生み出そう」、鶴見ガバナーの「今こそ変わる勇気を！ さあ、一歩前へ」のスローガンのもと、ガバナー補佐、クラブ会長が中心となって、公共イメージの向上に取り組んでいただき、2500地区に公共イメージの輪を大きく広げていただきました。ありがとうございます。一年間精力的に鶴見ガバナーが活動されたことは、2500地区がおかれている地域社会のロータリーの公共イメージを大きく変化させ、各クラブの会員増強に貢献されたと確信するところであります。

2024年5月14日北海道ホテルにて、鶴見ガバナーを座長に、「①国際ロータリーをもっと有名にするためには何が必要か②誰かに奉仕することで自分が幸せになるという考え方について

③ロータリークラブの魅力を伝えるためには」とのテーマで座談会を開催させていただきました。パネラーとして帯広RCの協力をいただき報道関係に携わるお立場にいらっしゃる会員の佐藤真康さん、松岡準志さん、石原宏治さんにそれぞれのお立場で日頃感じていることをお話いただきました。

ロータリーの未来を創造するため、会員ひとり一人が実施した事業が大きく花開くことを願って、一年間の活動報告とさせていただきます。地区会員皆様のご協力に深く感謝申し上げます。また、委員として支えていただきました小林正男（紋別港）様 大友 広明（帯広西）様 石川 泰路（旭川西）様一年間ありがとうございました。



1年間を振り返って



会員増強委員会

委員長 平井 昌弘
(釧路北RC)

2023-2024年度、ゴードン.R.マッキナリー会長は、『世界に希望を生み出そうと』と掲げられリーダーとして大切なことは『継続性』と仰っており、その中でさらに自分らしくあり続けることと先人たちのアイデアを発展させることと仰いました。

また鶴見誠一郎ガバナーは地区活動方針でロータリーの魅力を伝え、会員増強や新クラブ設立に積極的に取り組みましょうと掲げられ、ロータリーをみんなで楽しみましょうと何度も伝えられておりました。私はこの鶴見ガバナーの方針を地区委員長として一人でも多くの会員に伝えていけるよう活動して参りました。年度スタート時の地区会員数は2254人で2024年5月末時点では2324人と70名の増となりました。

しかしながら、新クラブ設立はゼロ、また女性会員の割合も6%と変わっておらず、更にクラブが一減となりました。私の1年間の活動は他クラブへの卓話を中心に行い、第3分区会長幹事会での講話、次年度ガバナー補佐への研修などをさせて頂きました。

結果として会員数は増えたものの、委員長と

しての活動はまだ足りないと感じております。

その中でも今後の課題として提唱されているのが新クラブ設立と女性会員の増強でございます。特に新クラブ設立に関しましては、活動分野に基づく衛星クラブの設立が全国的に活発化しております。やむを得ない理由で退会をしたメンバーや世代交代などで退会をしたメンバーなどを再度お声掛けし安い年会費などでもう一度ロータリアンとして活躍の場を提供したりなど各クラブ、各地域での特色を活かした活動分野があると思います。

次年度も同じ立場で今年度、成しえなかった部分を次年度に活かしていきたいと考えております。まずは一年間鶴見ガバナーの下、大変お世話になりそして活動できたことを大変光栄に思っているところでございます。

結びになりますが、各会議開催にあたり鶴見ガバナー・ガバナー補佐・会員の皆様には大変ご尽力を賜りこの場をお借りして心より感謝申し上げます。一年間大変お世話にありがとうございました。

次年度も何卒よろしくお願い致します。



1年間を振り返って



青少年委員会

委員長 藤 田 礼 三
(遠軽RC)

青少年委員会は永年韓国第3590地区と姉妹地区協定書により青少年交換事業が主な事業でした。4年間コロナのため交流が途絶えていたため鶴見ガバナー今後の姉妹都市との協定について3590地区とは打切方針をだされました。

次年度小谷ガバナーの時に諮問委員会を開設し、検討することになりました。そのため私が青少年委員長を継続することになりました。

小谷ガバナーの「誰かのために、あなたのために、自分のために」

考えを多くの青少年に経験させてほしい。

今後開かれる諮問委員会で

- 1 新たな姉妹地区の協定
- 2 インタクトクラブとの調整
- 3 今後青少年に国際性、奉仕精神をロータリーがどう支援していくか期待する。

1年間を振り返って



危機管理委員会

委員長 湯 浅 秀 昭
(旭川北RC)

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になり、行動制限のない日常が戻った1年でした。様々な奉仕活動も活発になってきています。

国際ロータリーは、青少年の保護に強く注力し様々なガイドラインを設け、研修等を行なっています。私は、昨年7月に東京で行われたRIJYEM主催「全国危機管理委員長会議・全国青少年交換委員長会議」に参加しました。

※RIJYEMとは、一般社団法人 国際ロータリー
日本青少年交換多地区合同機構

全国から約100名が参加し、RIJYEM Plat Form 副理事長（危機管理担当）片山 勉様から危機管理の基本姿勢、事故・事件が発生した際の対応、プログラムの留意点、国際ロータリーのハラスメントに関する基本となる規定、パワハラの本質、ハラスメントの事例集、マスコミ対応などをご教示頂きました。この資料を元に、パワーポイントを作成し、4月に行われた地区研修・協議会の第3分科会（青少年部門）でお話をさせて頂きました。また、インターアクトの奉仕プロジェクトなどで学生たちが何らかのハラスメントを感じることはないよう、または被害を受けないよう、最新の注意を払って事業を実施する必要があります。そのため、対象クラブに関連資料を送り、危機管理委員会として情報の提供、注意喚起などを行っています。

2020年ハラスメント防止法が施行され、2022年4月1日から中小企業を含む全企業が「パワハラ防止法」の義務化対象となりました。

今後、ロータリーでもハラスメントに対する対策がさらに必要になります。

ここで、今一度危機管理の基本姿勢を共有したいと思います。

【危機管理の基本姿勢】

1. 危機は必ず起こると認識する
2. 予兆を捉え予防に徹する
3. 安全と安心は自ら守る
4. ロータリーは例外ではない
5. 少人数で対応する
(三人寄れば文殊の知恵は通用しない)
6. 直ぐに対応し、早く解決する

最も重要なことは、事故・事件を事前に防ぐこと（予防ーリスクマネジメント）です。

平時から「備え」についての研修を継続し、全てのロータリアンが危機への正しい理解を持つことです。ロータリーは単年度制であり、また社会環境の変化に対応するためにも研修が重要です。

次年度も、引き続き危機管理委員長ですので、卓話などでお話をする機会を頂ければ、委員会で検討し、お伺いすることも考えております。

今年度、皆様のご理解とご協力により危機管理委員会が対応するトラブル事案もなく終わろうとしていますことに、心から感謝申し上げます。

1年間ありがとうございました。



1年間を振り返って



国際青少年交換委員会

委員長 駒形 貞洋
(旭川東RC)

2023-2024年度は、2500地区で4期ぶりの青少年交換事業を再開いたしました。アメリカの6650地区オハイオ州ウスターRCと当地区紋別RCのスポンサーで一名ずつの交換で2023年8月より派遣、受入を実施中です。

今年度の派遣学生は紋別高校2年「米田くるみ」さん、有意義な学生生活を過ごすと共に貴重な体験をしているようです。先日のレポートでは、ホストファミリーと共に大谷翔平の試合を観戦、現在帰国前の学生ツアーに参加、元気で過ごしていると報告が上がっています。6月帰国予定で報告会を開催予定です。受入学生はロバート・レベッキーくん、大変積極的に2510地区との合同行事やインターナショナル

ナイト、札幌雪まつりなど積極的に出席いただき大いに活動頂きました。また5月山形県天童市で開催されました交換研究会に出席全国の交換学生、ローテックス（交換帰国学生）と交流してまいりました。7月帰国の予定で、最後の帰国報告会に向けてプレゼン報告の練習中です。

交換事業は高校生の果敢な時期に1年間の経験は、消して楽しい物だけではありませんが子供たちにとって生涯で最大のインパクトとなりえます。この素晴らしい事業にご理解とご協力をお願い申し上げまして報告とさせていただきます。



1年間を振り返って



インターアクト委員会

委員長 吉川 裕二
(旭川北RC)

国際ロータリー2500地区インターアクト委員会は地区事業として短期海外研修や地区大会を実施していましたがコロナ禍は中止しておりました。今年度、5月11日と12日の二日間、帯広北ロータリークラブをスポンサークラブとし、帯広大谷高等学校をホストクラブとして開催することができました。長きにわたって中止を余儀なくされ、地区内11のインターアクトクラブは活動を制約されておりましたが、開催できたことを、帯広北ロータリークラブ並びに帯広大谷高等学校インターアクトクラブに感謝とお礼を申し上げます。また参加頂きました全ての皆様にお礼を申し上げます。地区大会では久しぶりの各校の活動報告、グループディスカッションなどが行われ有意義な交流になったと思いますし、各校は他校の活動報告を聞いて参考になるところは取り入れて頂ければと思います。

次に、各校のインターアクトクラブの顕著な活動があるところについては、地区インターアクト委員長推奨事項として、地区内のロータリークラブに、卓越したインターアクト・プロジェクトを表彰すること、地区レベルで表彰または賞の授与を行うよう奨励しました。

また、ロータリー賞（インターアクトクラブ）は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータ

リーの行動計画を支えたクラブを表彰する。2020-21年度より、20の目標のうち、少なくとも11を選択し、クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができ、クラブはロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができる。認知度の向上「世界インターアクト週間」（望ましくはインターアクト創立記念日である11月5日）に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝えるなどを促しました。

2023年RIよりインターアクトクラブは、毎年顧問（アドバイザー）の報告することが義務づけられており、2500地区内のインターアクトクラブの一部に報告確認出来ない旨の連絡があり、11クラブのスポンサークラブを通じて再登録又は修正を行うようお願いしました。同時に地区ガバナー事務所に顧問（アドバイザー）の名前、メールアドレスの提出もお願いしました。

インターアクトクラブの活動は、長い間コロナで対外的な活動はほとんどできておらず、校内活動が主になっているところが多かったと思いますが昨年5類に変更されましたので今後益々活動が広がることを願っております共に、長期間中止されております地区インターアクト短期海外研修が早期に実施できるよう地区予算を組んで頂きますようお願い申し上げます活動報告とします。

1年間を振り返って



ライラ委員会

委員長 主 藤 雅 裕
(北見RC)

本年度の一年を振り返り、近年、新型コロナ感染拡大により行動制限や自粛を余儀なくされ、3期に涉りやむなく中止となった「第40回ライラセミナーin北見」を開催できたことに改めて関係者の皆様に対し、御礼を申し上げます。

この一年、ライラ委員長をお引き受けした2022年暮れに悶々とした日々を過ごし、どのような内容にするべきか悩んでいたところ、当時、登山ガイドとして活動していた「野村良太さん」が挑戦した「北海道分水嶺積雪期単独縦断670km63日」というNHK札幌放送局で制作・放送された番組からインスピレーションを得て、企画させて頂きました。

私たち国際ロータリー第2500地区は、北は稚内・利尻礼文～南は十勝、日高まで渉る地域で活動しております。そこで、「地区内各地の皆様は、その山々の稜線を見て暮らしているのではないか、多くの恵みをその山々から得て暮らしているのでは・・・」そして講師の野村良太氏（当時28歳）はライラ世代であり、コロナ禍でガイドの仕事も失った中、北海道の背骨を縦断しようという若き岳人の挑戦。コロナ禍を経て、そしてロシアによるウクライナ侵攻など、混沌とした社会情勢、先行きが見えない困難な状況で特に若年層には厳しく、将来不安が懸念されている状況下の中

で大人が語るよりも同世代で、新たな気づきを生み出してほしいとの考えに至りました。

「CREATE HOPE 自らのところに希望を取り戻す！」をセミナーのテーマとし、初めて会う者同士、各班に分かれてのグループディスカッション、皆で力合わせて行うグループ発表、研修生の多くはコロナ禍で人々が集う事が疎まれる時期を過ごしてきましたので、新鮮な気持ちで向き合ってもらえたと思います。

世界各地で起こる紛争の勃発、各地で起こる災害、地元地域では人口減少、若者の流出、地域経済の停滞など、ますます混沌を増す社会情勢であり、将来を担う若者に対し『未来に対し、希望は・・・』私たち大人は何をしてあげられるだろうかと考えます。

本年度を終えるにあたり、鶴見ガバナーの地区スローガン「今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ」中断となったライラセミナーの再開にあたり、一歩進めることが出来たと自負しております。また、新たな試みとして講演会が一般公開とさせて頂き、多くの市民にご来場を頂きました。

最後に地区内各クラブのロータリアン、地区役員、ホストクラブ北見RC、多くの方々のご支援を頂きました関係者の皆様に対し、感謝と御礼を申し上げます。



グループディスカッション



グループ発表



野村良太氏講演会（北見工大）



メイン会場 風景



懇親会



集合写真

1年間を振り返って



ローターアクト委員会

委員長 飛 岡 抗
(帯広RC)

新型コロナウイルス感染症の影響で通常の活動ができず、感染対策を取りながらの活動していたのが、対面式従来の例会に戻り、定款・細則年齢制限撤廃若しくは、35歳と年齢制限を設けたり、ロータリアンの一員として自立と自律が課題となった一年でした。委員長として委員の皆様との協力を得て一年間務めることができました。皆様方には御支援と御指導を賜り誠に有難うございました。現在、当地区にはローターアクトクラブが9クラブあり会員数は約 79名が登録されており、歴史のあるクラブほど会員数

が減少状態です。ローターアクトクラブは、会員が中心となり企画から運営までボランティア活動を通じ地域社会に様々な貢献をしながら自分自身が学び成長していく団体です。ロータリアンの皆様には、入会者候補のご紹介を宜しくお願い申し上げます。そして提唱クラブ以外のロータリアンの皆様もローターアクトクラブ活動に少しでも御参加頂き御理解と御協力の程、宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、1年間有難う御座いました。



1年間を振り返って



社会奉仕委員会

委員長 **野村文吾** (帯広RC)

委員 秋穂 智久 (根室) 佐藤 浩司 (音更) 竹内 遵 (旭川東北)
尾井 聡 (紋別) 正者 泰成 (北見東) 平 信二 (釧路西)
丸山 修 (稚内南)

本年度はコロナが終息し、社会奉仕委員会はしっかりと成果をあげることが可能となりました。

財団補助金の申請に始まり、数度の質疑に回答して採択が決まり、準備段階に入りました。

しかしながら、不勉強のため財団補助金事業における勝手が分からず、ロータリー年度の関係もあって、コロナ禍の影響で人手が足りなくなった協力団体が繁忙期に入り、後手となりました。

結果、事業をスタートできたのは閑散期である10月に入ってからとなり、成果は出たものの思い描いたような成果までには繋げることができず、悔しい思いをした年度となってしまいました。

した。

ただし、様々な学びを得ることができましたので、次年度への糧として改善を掛けて行きます。

また、2023年4月の地区研修・協議会では「社会奉仕とは」を発表させて頂き、2024年3月には中標津RCさまから招聘を受けて「社会奉仕委員会の活動内容」を発表させて頂きました。

最後になりますが、鶴見ガバナーおよび地区役員の皆さま、特に地区補助金チームのご指導と委員会の皆さまのご協力に、心からの感謝を申しあげまして一年間の御礼に代えさせていただきます。



2024年3月14日 中標津ロータリークラブでの卓話

1年間を振り返って



職業奉仕委員会

委員長 丸 小 寿 幸
(稚内南RC)

2023-2024年度職業奉仕委員会では、昨年9月と今年6月の2回ではありましたが、リアルで委員会を旭川に於いて開催することが出来ました。また必要に応じて、メール、電話で打ち合わせを行い、委員会活動を進めさせていただきました。

職業奉仕について話し合い、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の大切さを再認識し、委員会として「四つのテスト」の企業における事例を収集し、検討を重ねることを考えました。

しかし、「四つのテスト」の実践が出来ていなかったと思われる事例は数多く見られましたが、「四つのテスト」をこのように実践されている事例がなかなか思うように収集できません

でした。

その間、委員会内部で「四つのテスト」を考案した、ハーバート・テラーについて、歴史や背景について情報共有を行いました。

最終的に、日頃から「四つのテスト」をより意識した中で、日々の活動を実践していただければと考え「四つのテスト」のポスターを作成して、2500地区の会員の皆様に配布させていただきました。

職業奉仕委員会の皆様には、様々な意見をいただきことが出来ました。また、鶴見ガバナー、地区事務局の皆様には、様々なお願い事に対し、迅速にしかも前向きに対応していただき感謝申し上げます、1年の振り返りとさせていただきます。

1年間を振り返って



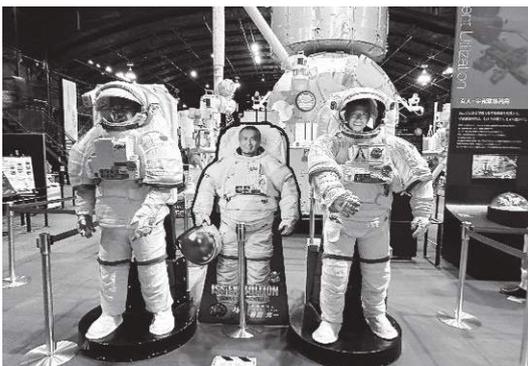
米山記念奨学会運営委員会

委員長 石平清美
(富良野RC)

第2500地区会員の皆様、本年度も米山記念奨学会運営委員会にご理解・ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。本年度は10名の奨学生を迎えました。世話クラブでは、旭川・2500Eクラブ・旭川南・音更・帯広・帯広西・帯広南・北見・北見西・北見東ロータリークラブの皆様、世話子クラブでは、旭川東・旭川北・旭川東北・芽室・帯広北・帯広・帯広東・美幌・網走・留辺蘂ロータリークラブの皆様には、奨学生一人一人に親身にサポートして頂き、彼らの第2・第3の故郷が出来ました。彼らの報告書から、大学の研究成果はもちろんのこと、ロータリアンの皆様の家族同様に受け入れて頂き、日本の文化・習慣・おもてなしにふ

れ、かけがえのない時間への感謝で溢れております。

また2023年8月5日6日には、第3回米山学友「再会in関東」が筑波にて、盛大に開催されました。世界38か国の学友と現役奨学生638名、ロータリアン447名、その家族を含め総勢1,209名が参加しました。ロータリー米山記念奨学事業の成果は、学友の皆様が形を問わず社会に貢献され、懐かしいロータリアン・仲間との再会を喜び、プログラムを通じて親睦と国際理解を一層深められました。米山記念奨学会事業は、「将来への投資・種まき事業で、人材育成」です。彼らが自国と日本の懸け橋になるべく、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



1年間を振り返って 「私の思いは杞憂にすぎないか？」



国際奉仕委員会

委員長 足立 功一
(釧路北RC)

鶴見ガバナーから「今年一年間を振り返って」の題で原稿依頼が参りました。

この一年間、各クラブの会長、幹事そして理事・役員、そして会員の皆様には2500地区のロータリー活動を推進していただき誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

時代の変遷につれ、ロータリーの考え方、活動の仕方は大きく変わってきました。私がガバナーの時代とはかなり異なってきました。ここでは私が最近杞憂に思っていることを少し綴ってみたいと思います。

その1：

シンガポールで開催された国際大会が終わりました。日本から約2,000名のロータリアンが参加し、日本人朝食会にも約800人が出席しました。国が近く、時差も1時間しかないので参加しやすかったと思います。それにしても今年の大会参加にかかった費用は高額でした。特にシンガポールはインフレの影響もあり、直前の登録料は約10万円。日本人朝食会は10,000円（この朝食会は会場、規模、食事内容を勘案すればコストパフォーマンスは良かったと思います）、地区ナイトは3地区合同で行った為 37,000円と今までになく高額でした。しかし、この金額にも関わらず2,000人が参加しているわけですから、ロータリアンとは事程左様にリッチマンであるわけです。他を例にとれば、私が今年参加したアメリカ皮膚科学会総会の登録料は40万円でしたので、すべてが高くなっていると言わざるを得ません。そしてホテル代が高額であり、果たしてこの金額で毎年ロータリアンが国際大会に参加するかは少し疑問です。

その2：災害支援

毎年のガバナー年度を紐解くと日本国内では必ず大きな災害が発生しています。それを羅列してみますと、

年度	ガバナー	出来事
2008	足立	リーマンショック 岩手・宮城内陸地震
2009	山本	伊豆半島東方沖地震 駿河湾地震
2010	柴田	福島県沖地震
2011	増田	東日本大震災
2012	櫻田	熊本県豪雨災害 インドネシア・ 北スマトラ沖地震
2013	葭本	台風26号
2014	奥	御嶽山噴火。 豪雨による広島市の土砂災害
2015	東堂	
2016	駒形	大分県中部地震、熊本地震
2017	成瀬	九州北部豪雨
2018	細川	西日本豪雨、大阪北部地震、 北海道胆振東部地震、 台風直撃関空水没
2019	吉田	台風19号
2020	松田	新型コロナウイルス感染、 令和2年7月豪雨
2021	漆崎	新型コロナウイルス感染、 福島県沖地震 8月集中豪雨
2022	久木	福島県沖地震
2023	鶴見	
2024	小谷	能登半島地震

このように毎年大きな災害が発生し、それに対して地区内で義援金を募ることの繰り返しです。新型コロナ感染下で始まったzoom会議のおかげ

で地区の資金は一時期かなりの剰余金が発生し、それを基金として災害に備えようと決議されました。しかし、年度が替わると金額の規定がありませんから、ガバナーの裁量で湯水のごとく使ってしまうとすぐになくなります。先を見越して被災の規模に応じた支援額の設定があっても良いかと思えます。

その3：地区組織の肥大化。

ガバナーエレクトは毎年アメリカの国際協議会で研修を受けてきますが、RIの指示でここ数年さまざまなセミナーが増加し、中央に集まる回数は私の時代と比較してもかなり増えてきています。日本人のエレクトは純粋で、しかも真面目ですから日本に帰るとRIの指示通り多くの委員会を設置し、セミナーを開催します。また、財団も委員会が細分化され、そこに委員長、副委員長、委員があてがわれていますので、地区研修の際は参加者が増え、少人数のクラブでは全員参加と言う事にもなりかねません。そして、それに対して少額ではありますが交通費が支払われますので、必要経費は増加する一途であります。最近では、まあPETSや地区研修協議会では仕方がないとしても、自分の年度を支えてくれる地区チーム研修セミナーの懇親会が会費制となり、昼飯までお金を徴収されるようになりました。

本当にこれだけ多くの委員会が必要なのだろうか？と疑問に思っていましたら、昨年7月のガバナー会で小澤一彦元RI理事が同じことを話しておりました。

坂本一PDG年度の地区大会で特別講演をしたRI2580地区の故佐藤千寿PDGの資料を引用させてもらえば、氏はこのように話します。「Rotaryと言う組織の単位はクラブであり、またガバナーが統括する適正なクラブ数をまとめて地区が編成されているので、それぞれその組織として事務処理に要する経費が発生する。それが会費であり、地区費である。しかし、それはあくまでも事務費であって、奉仕活動に要する費用は、それに献身・奉仕できる人が、それぞれの力量に応じて自分で負担すべきものだろう。Rotaryが「奉仕する会員個人の集まり」と言う鉄則に照らして考えれば、当然そういうことになる。そうするとクラブなり、地区なり、団体として必要なのは、事務処

理の費用だけだからたいした事は無い。ところがRotaryの奉仕が個人奉仕ではなく団体奉仕に傾斜してくるに従ってどんどん必要資金が増加していく。そうすると今度は民主主義だからと言って全会員に均等に負担がかかってくる。地区資金で言えばクラブ単位で均等に割り当てられる。そして、ついにはそれぞれの活動に従事する役職者の労に酬いる費用という事まで発生するようになった。要するに、顔の見えない他人の金で奉仕するということだ。その結果、安易に役職者の数が増やされていくと言うことになる。役職と言う格好をつけた肩書きのばらまきである。Rotaryでは会員が減少しても、逆に地区の役職者とその労に報いる補助金が増えていく。これは民間の会社では考えられないことだ。」と話します。

RIは毎年、これでもか、これでもかと会員増強、クラブ活性化を推進し、詳細なクラブ組織を構築しているわけですが、その分私たちの負担する人頭分担金は増額し、地区賦課金も増え、それで賄えない分は自腹を切られるという構図が次第に顕著になってきました。負担が増えれば、それに嫌気がさして自ずと会員数は減少します。過去からの経緯を知らないガバナー候補者は、そこまで全体の動きを把握して地区を運営しているのか、将来が心配でなりません。

その4：新しい研修方法

ロータリーの研修は、トレーニングからラーニングに変わりました。私のガバナー年度のRI理事でした渡辺好政先生によると、トレーニングとは「上から下に行われる」、「均一性が要求される」決まった列車（トレン）で、決まったコースで、皆が同じ場所に行くというイメージであり、ラーニングとは横の関係で行われるもので、コーチングを受ける人が、自ら選択する主体性を保持する。馬車（コーチ）のように、自分の好きなところに自分の行きたいコースで進めるように手助けしてくれるイメージと習いました。そして司会者ではなくファシリテーターなる言葉が出てきました。皆さんの話をコントロールする役目を担うという事でこの名前がついていますが、この役目は様々な知識や経験がなければ務まらないもので、私もサンディエゴの国際協議会の前に1週

間辛い研修を2年間受けました。それこそ話し合いの際の立つ位置、視線の配り方、時間配分、討論内容の進め方等、朝8時から夕方5時までの研修があり、その後は国ごとに自分たちの金で懇親会を企画するという体験をしました。今多くの地区ではRLIを導入し研修をしていますが、本当に身になっているのでしょうか？さまざまな問題がありこれに見切りをつけて辞めた地区もありますし、導入していない地区もあります。PETSや地区研修協議会など多人数が参加する会では、個人的に成果は期待できないと感じています。ガバナー補佐研修や各委員会委員長の研修には効果的ではないかと思いますが。

その5：奉仕とは

社会生活において、我々が働くのは基本的には生きるためであり、その多寡によっては良い生活を送るためのものでもあります。しかし、すべて報酬が得られる仕事ばかりではありません。家事労働等はその代表的なもので、本来、それ自体が生活の一部ですから報酬はつきません。故に報酬は単なる生活のための手段であって、一家の生活を支える必要経費に過ぎないと考えられます。しかし、報酬が得られなくても私たちは必死に働くことがあります。それは一種の生きがいであり、社会や家族が自分を必要としている、自分の存在が社会的に高く評価されると言う充実感を持っているからでありましょう。だから報酬の多寡を度外視して一生懸命働く人がたくさんいます。その極まるところがボランティアであって、無償どころか、逆に自分の金をつぎ込んだりもするわけです。これは典型的な社会還元であり、それだからこそ、社会的に高く評価され、尊敬もされるのである。と千寿氏は話します。これが真の意味の奉仕と判断されると思います。

しかし、ロータリーが個人奉仕から団体奉仕に変化していくようになると、個人のお金を使う奉仕ではなく、皆さんから徴収した地区の金を奉仕活動だからと言って委員会での交通費、会食代、事務費などに使うようになります。ロータリーは今やあまりにも規模が大きくなり、情報量も増

え、扱うプロジェクトも多くなりすぎました。ポリオ撲滅が終わればまた新しい感染症撲滅の活動が始まりだし、環境問題にも手を付け始めました。ロータリーが過去から力を入れてきた新世代交換は国際ロータリーの公式プログラムではなく、今まで得意としてきた人事育成活動はどこに行ってしまったのでしょうか？

世界で良い事をするためにはそれを理解して、実行する人を育てなければなりません。あまりにも手を広げいくロータリー。その将来はどうなるのでしょうか。

過去、ロータリーはガバナーと分区代理で統治していましたが、その後アシスタントガバナー制へと移行し、その役割は拡大しました。しかし今は、1人のガバナーとアシスタントガバナーとでこれからの地区役員を束ね、円滑なコミュニケーションが取れるのでしょうか。「独裁君主ならいざ知らず、輩下の会員皆それぞれが一国一城の主である委員会が二重、三重の構造になっていたら、どこに責任の所在があるのか分からなくなる。「船頭多くして船山へ上る」だけで逆に情勢が混乱する」と佐藤千寿PDGは話します。

私は今から約15年前に、今のロータリーの現状を予測したこの論文を書かれた佐藤千寿PDGの慧眼に驚きを持つとともに、今年のカバナー会でそのことに触れた小澤一彦元RI理事の言葉が心に突き刺さりました。

ロータリアンが奉仕のため、地区の為に払っているお金は、皆様が汗水たらして稼いだ大切な浄財です。一銭たりとも無駄にするべきものではありません。しかし、最近ではその使い方が非常に雑で適切ではないと考えているのは私だけでしょうか。ロータリーに関連することなのだからと飲食、旅費、遊興費に使い、会計決算できなくなる。こんなことは起こって欲しくありませんし、ロータリアンであるならばきっと理解してくれるものと信じています。

ロータリー活動と言う世界に誇れる素晴らしい活動に興味を持たない若者が増えないように、私達は普段からその行いを律して、若者たちの模範となるべく素晴らしい活動をしていきませんか？

1年間を振り返って



リソースとサポート委員会

委員長 **本 間 潤**
(旭川西RC)

1年間大変を世話になりました
 年度当初の計画にて「海外奉仕事業における
 現地調査及び事業終了後の完成検証時の旅費の
 一部を支給し、海外奉仕事業を行う各クラブの
 支援を行う。」また利用可能なリソースについて
 各クラブにお伝えし、各クラブで検討・計画し
 ている国際奉仕事業を支援するとしていました。
 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大も終

わり 海外旅行なども賑わいを取り戻してきま
 した。そのことから、海外奉仕事業の立案を
 されているクラブも多くなってきました。
 国際奉仕事業を行う各クラブの活動支援を行
 う委員会として認知度を高める広報が、まだま
 だでありましたが 今年度リソースとサポート
 旅費申請をされた活動の2事例を紹介いたしま
 す。

・第2500地区 VTTチーム

事業目的 「基本的教育と識字率向上」

モンゴルの小学校には理科実験室が無く教科書のみであり高校を卒業しても理科系
 への進学率が低いなどの事情からモンゴルの理科教師へ日本の理科教育研修を行う計
 画。モンゴルの未来の工業・教育の発展活動

7月に予定するモンゴルRID3450地区からのVTT研修チームの受け入れ準備にあたり、
 現状の小学生への教育現場のリサーチを行う為の訪問

開催場所 モンゴル

開催日時 2024年4月29日～5月4日

参加人数 5名

・第2500地区 グローバル補助金チーム

事業目的 3330地区 グローバル補助金事業の視察

GG2348101 郊外の病院に、新生児、妊婦さんへの医療機器の提供

開催場所 3330地区 スラッタニー

開催日時 医療機器が提供された病院の視察費 2024年3月30日

参加人数 4名

まだまだ認知度の低い補助金ですが、各クラブ様の立案される国際奉仕プロジェクトのお役に立
 てればと思います。

1年間を振り返って



グローバル補助金チーム

リーダー 行木 隼人
(音更RC)

RI第2500地区ロータリアンの皆様、こんにちは。

鶴見誠一郎ガバナーの年度も無事にグローバル補助金事業を終えることができました。今年度はタイ3330地区と3つのグローバル補助金事業に取り組みました。1つ目は釧路ベイRCがインターナショナルスポンサーとなり、プーケット南RCと行ったプーケット近郊の村にいる発達障害のある子どもへのサポートに関する事業で総額\$37,300（地区\$10,000、釧路ベイRC\$1,050拠出）の基本的教育と識字率の向上の分野のもの、2つ目はナコーンパトム市の市立病院に感染拡大予防型エアコンシステムの導入の事業に2500地区がサポート地区として\$15,000拠出を行いました。3つ目の事業はスラタニー地区小学校の図書館の改築と図書寄贈に関するものです。この事業は鶴見年度には実行するには至っておりませんが、グローバル補助金チームとして承認したものです。事業の提出、実行がロータリー年度を跨い

で行われるのがグローバル補助金のややこしいところです。小谷年度に実行されると思いますので、その報告を待ちましょう。

振り返ってみれば、細川パストガバナーの年から、足掛け6年をグローバル補助金チームのリーダーとして携わったこととなります。その間、様々な補助金活動に携わりました。グローバル補助金事業を行うにあたり、2500地区で対応するものもあれば、クラブとしての対応、他地区のクラブと2500地区のクラブを橋渡しする役割などがその中にありました。事業の承認に至るまで時間がかかるものもあり孤軍奮闘することも多々ありましたが、無事に事業を終えたとの報告を聞くとちょっとした安堵を覚えるものでした。グローバル補助金チームに所属したことで、多くのロータリアンと知り合いになれたことが何よりも宝です。今後は、今まで培った経験をもとにチームのサポートをして行きたいと思います。

1年間を振り返って



VTTチーム

リーダー 小 沢 昌 博
(帯広RC)

2023年7月よりチームリーダーを拝命受け、2023-24年鶴見ガバナー年度が終了致します。

皆様御存じのように、VTTとはVocational training team 職業研修チームの略となります。

専門職業人のグループを海外から受け入れ、又は赴き、スキルや知識を学んだり、スキルや知識を提供したりするものです。

費用は地区資金、地区補助金、グローバル補助金を利用しVTTを行う事が可能ですが、それぞれの資金により、異なる要件があります。

VTTは世界各地の地区間で、またクラブ同士でも実施が可能です。VTTの効果的な推進には、実施前の現地視察を始めとする入念な計画が重要であり、グローバル補助金を利用する場合は以下7つの重点分野を支援することが必要です。

- 平和構築と紛争予防
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展
- 環境

以上各重点分野に関係する事業であることや持続可能なプロジェクトであることが求められます。

活動内容はチームにより異なりますが、様々な活動が可能であり、VTTの効果的な実施により、地域社会の人々が自らの問題を解決し、様々な環

境を改善する力を身に付ける事ができます。

本年、重点分野の基本的教育と識字率向上の分野で、当地区役員とモンゴルのロータリアンが懇談の機会があり、これからの、モンゴルの次世代を担う子供たちへ理科教育を行うモンゴルの教師へ日本の教育機関の協力を仰ぎたいという要望があり、研修の場を設ける機会を準備致しました。

4月30日から5月4日までウランバートルの小学生への教育の状況を財団委員会にて調査をさせて頂きました。その内容を踏まえまして、次年度7月10日より19日までの期間で道東の釧路で北海道教育大学釧路校、釧路義務教育学校、こども遊学館、釧路市立博物館、帯広地区で帯広児童会館、帯広百年記念館、帯広市大空学園義務教育学校、国際協力機構（JICA）、帯広畜産大学、帯広市教育委員会、キッツラボ帯広校様の御協力を頂きまして教師の皆様には理科教育研修をする場を用意いたしました。

この研修により日本とモンゴルが更に友好的な関係を築け、モンゴルの子供たちが理科に興味をもち、理科教育がより一層向上し、幅広い分野に子供たちが成長してゆくことを祈念致します。

これからもロータリー財団とVTT事業への皆様のご理解とご協力をお願い致します。



1年間を振り返って



地区補助金チーム

リーダー 工 藤 一 則
(帯広北RC)

2023-2024年度の地区補助金申請は、地区3、18クラブ(合同含む)と初めてローターアクトクラブから1件の申請を受け付け、配分可能なUS\$60,219のうち、管理運営費と予備費・臨時費を除いたUS\$58,570を配分しました。結果、地区2、17クラブ(合同含む)、1ローターアクトクラブで地区補助金を活用した事業を開催して頂きました。事業を活用してロータリーの公共イメージの向上と地域社会への貢献を果たされた皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

ご承知の通り地区補助金は、皆様がロータリー財団に寄付された資金がシェアシステムを通じて、3年後に使用できる資金ですので、是非活用して、地域やクラブの活性化などに役立

てて頂ければ幸いです。そのために地区補助金チームは支援と協力を惜しみませんので、今後ともご協力賜れば幸いです。

結びに、2023-2024鶴見ガバナー年度のチームリーダーとして地区補助金に関わり、鶴見ガバナー、小林地区幹事、吉村事務局員並びに成瀬財団委員長、本間財団副委員長をはじめ、チームメンバーには大変お世話になりましたことを心より感謝申し上げます。また、申請クラブのご担当者様にも計画段階より多くのご無理を申し上げましたが、様々な事柄に真摯にご対応を賜り、すべて事業報告を提出して頂きましたことに深く感謝の意を表しまして報告いたします。

1年間を振り返って



ロータリー平和フェロシップチーム

希望をもつということ

リーダー 東海林 勉
(遠軽RC)

「当地区から、是非、ロータリー平和フェロを送り出そう」ということで、本年もロータリー平和フェロシップ申請受付を2月に開始、締め切りの5月15日までに残念ながら一人の応募もありませんでした。

反省点として、積極的な情報提供・広報活動等が不足していたと思います。

ゴードンRI会長は、「世界そして国際ロータリーが抱える課題や不幸から脱却するために、世界に希望を生み出そう」、「平和とは、希望を根づくための土壌」、と述べました。

鶴見ガバナーは、「世界に希望を生み出すには、そして、世界を変えるには、我々ロータリアン一人ひとりも変わる必要があるのではないのでしょうか。

会員お一人の一步前進が、地区（総会員数）として2,000歩以上の前進となります。」

希望をもつということは、まだ生まれていないもののためにいつでも準備ができているということであり、たとえ一生のうちに何も生まれなかったとしても、絶望的にならないということである。（エーリヒ・フロム：ドイツの社会心理学者）

たゆまず、一步、一步、前進！

2023-24 RI第2500地区

2023年 (令和5年) 7 月		2023年 (令和5年) 8 月		2023年 (令和5年) 9 月				
1	土	ガバナー会	1	火	公式訪問 広尾・帯広東	1	金	
2	日		2	水	公式訪問 上士幌・足寄	2	土	
3	月		3	木	公式訪問 清水・帯広西	3	日	
4	火		4	金	公式訪問 帯広北	4	月	
5	水		5	土	網走西RC創立50周年記念式典	5	火	公式訪問 網走
6	木		6	日		6	水	公式訪問 清里・斜里
7	金		7	月	公式訪問 士別	7	木	
8	土	地区諮問委員会(紋別) ガバナー補佐会議(紋別)	8	火	公式訪問 中頓別・名寄	8	金	公式訪問 北見 3RC 合同
9	日		9	水	公式訪問 枝幸	9	土	
10	月	公式訪問 音別・釧路西	10	木		10	日	
11	火	公式訪問 釧路東・釧路ベイ	11	金	祝日 山の日	11	月	公式訪問 美瑛
12	水	公式訪問 釧路北	12	土		12	火	
13	木	公式訪問 釧路	13	日		13	水	
14	金	公式訪問 白糠・釧路南	14	月		14	木	公式訪問 富良野
15	土		15	火		15	金	公式訪問 旭川
16	日		16	水		16	土	
17	月	祝日 海の日	17	木	公式訪問 遠軽	17	日	
18	火	公式訪問 芽室	18	金	公式訪問 雄武	18	月	祝日 敬老の日
19	水	公式訪問 音更・帯広	19	土		19	火	公式訪問 旭川空港
20	木		20	日		20	水	公式訪問 旭川北
21	金		21	月	公式訪問 豊富・稚内南	21	木	公式訪問 旭川M・旭川東
22	土		22	火	公式訪問 利尻・利尻島	22	金	
23	日	米山記念奨学会セミナー(紋別) ロータリー財団セミナー(紋別)	23	水	公式訪問 礼文・稚内	23	土	祝日 秋分の日
24	月	公式訪問 厚岸	24	木	公式訪問 天塩	24	日	
25	火	公式訪問 根室・根室西	25	金	公式訪問 美深	25	月	公式訪問 Eクラブ・旭川南
26	水	公式訪問 別海・中標津	26	土		26	火	公式訪問 旭川西
27	木	公式訪問 浜中	27	日		27	水	公式訪問 旭川東北
28	金	公式訪問 弟子屈	28	月	公式訪問 興部	28	木	公式訪問 上川
29	土		29	火	公式訪問 留辺蘂	29	金	公式訪問 紋別
30	日		30	水	公式訪問 滝上	30	土	
31	月	公式訪問 帯広南	31	木	公式訪問 美幌・網走西			

上期行事行動表

2023年 (令和5年) 10 月		2023年 (令和5年) 11 月		2023年 (令和5年) 12 月	
1	日	1	水	1	金
2	月	2	木	2	土 地区諮問委員会、地区戦略会議(帯広) G指名委員会、小谷GE壮行会(帯広)
3	火 公式訪問 紋別港	3	金 祝日 文化の日	3	日 米山奨学生面接(帯広)
4	水	4	土	4	月
5	木	5	日	5	火
6	金	6	月	6	水
7	土 地区大会(紋別)	7	火	7	木
8	日 地区大会(紋別)	8	水	8	金
9	月 祝日 スポーツの日	9	木	9	土
10	火	10	金	10	日
11	水	11	土 網走RC創立70周年記念式典	11	月
12	木	12	日	12	火
13	金	13	月	13	水
14	土 ライラセミナー(北見市)1日目	14	火	14	木
15	日 ライラセミナー(北見市)2日目	15	水	15	金
16	月	16	木	16	土
17	火	17	金	17	日
18	水	18	土	18	月
19	木	19	日 ロータリー地域財団セミナー	19	火
20	金	20	月 ロータリー研究会	20	水
21	土 地区財団中長期戦略会議(紋別) 補助金関連チームミーティング(紋別)	21	火 ロータリー研究会	21	木
22	日 ロータリー財団補助金セミナー(紋別)	22	水 ロータリー研究会	22	金
23	月	23	木 祝日 勤労感謝の日	23	土
24	火	24	金	24	日
25	水	25	土	25	月
26	木	26	日	26	火
27	金	27	月	27	水
28	土	28	火	28	木
29	日 斜里RC創立60周年記念式典	29	水	29	金
30	月	30	木	30	土
31	火			31	日

2023-24 RI第2500地区

2024年 (令和6年) 1 月		2024年 (令和6年) 2 月		2024年 (令和6年) 3 月	
1	月 祝日 元日	1	木	1	金
2	火	2	金	2	土 地区チーム研修セミナー(帯広)
3	水	3	土	3	日 会長エレクト研修セミナー(帯広)
4	木	4	日	4	月
5	金	5	月	5	火
6	土	6	火	6	水
7	日 国際協議会(オーランド)	7	水	7	木
8	月 祝日 成人の日 国際協議会(オーランド)	8	木	8	金
9	火 国際協議会(オーランド)	9	金	9	土
10	水 国際協議会(オーランド)	10	土	10	日
11	木 国際協議会(オーランド)	11	日 祝日 建国記念の日	11	月
12	金	12	月	12	火
13	土	13	火	13	水
14	日	14	水	14	木
15	月	15	木	15	金
16	火	16	金	16	土 第7分区 IM
17	水	17	土	17	日
18	木	18	日	18	月
19	金	19	月	19	火
20	土	20	火	20	水 祝日 春分の日
21	日	21	水	21	木
22	月	22	木	22	金
23	火	23	金 祝日 天皇誕生日	23	土 第8分区 IM
24	水	24	土	24	日
25	木	25	日	25	月
26	金	26	月	26	火
27	土	27	火	27	水
28	日	28	水	28	木
29	月	29	木	29	金
30	火			30	土 第6分区 IM
31	水			31	日 第5分区 IM

下期行事行動表

2024年 (令和6年) 4 月		2024年 (令和6年) 5 月		2024年 (令和6年) 6 月	
1	月	1	水	1	土
2	火	2	木	2	日
3	水	3	金 祝日 憲法記念日	3	月
4	木	4	土	4	火
5	金	5	日 祝日 こどもの日	5	水
6	土 第4分区 IM	6	月 振替休日	6	木
7	日	7	火	7	金
8	月	8	水	8	土
9	火	9	木	9	日
10	水	10	金	10	月
11	木	11	土 第1分区 IM	11	火
12	金	12	日	12	水
13	土 分科会打合せ・懇親会(帯広)	13	月	13	木
14	日 地区研修・協議会(帯広)	14	火	14	金
15	月	15	水	15	土
16	火	16	木	16	日
17	水	17	金 北海道2500ロータリーEクラブ 創立10周年記念式典	17	月
18	木 クラブ活性化セミナー	18	土 第2分区 IM	18	火
19	金 クラブ活性化セミナー	19	日	19	水
20	土 第3分区 IM	20	月	20	木
21	日 美深RC創立60周年記念式典	21	火	21	金
22	月	22	水	22	土 地区補助金申請会議(帯広)
23	火	23	木	23	日
24	水	24	金	24	月
25	木	25	土 国際大会(シンガポール)	25	火
26	金	26	日 国際大会(シンガポール)	26	水
27	土	27	月 国際大会(シンガポール)	27	木
28	日	28	火 国際大会(シンガポール)	28	金
29	月 祝日 昭和の日	29	水 国際大会(シンガポール)	29	土
30	火	30	木	30	日
		31	金		

国際ロータリー第2500地区 **新入会員の紹介**

第3分区 旭川ロータリークラブ

さとう ひかる
佐藤 光

■自動車学校
■1956年7月29日生 ■5月31日入会

東京で長らく働き、数年海外勤務も経験したのち7年前に旭川に帰ってきました。皆様との交流の中で何らかの形で地域貢献できればと思っています。よろしくお願ひいたします。



第3分区 旭川ロータリークラブ

とざき ゆうじ
外崎 裕二

■冷暖房設備工業
■1973年1月1日生 ■5月31日入会

歴史あるロータリークラブの一員となれて光栄です。旭川の為に諸先輩の皆様と一緒に尽力したいと思います。趣味は46歳にて、ゴルフに魅了されて日々精進する楽しい日々を過ごしております。



第3分区 旭川ロータリークラブ

はら
原 かおり

■不動産
■1967年2月16日生 ■5月31日入会

旭川の錚々たるメンバーのお仲間に入れて頂き大変光栄に思っております。子供の頃から唄う事が大好きなので、夜間例会も楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。



第3分区 旭川ロータリークラブ

やまぐち ひろなり
山口 裕也

■広葉樹製材
■1968年2月10日生 ■6月7日入会

この度、御縁をいただきまして、ロータリークラブに入会させていただきました。今後ともご指導をよろしくお願ひします。又、ゴルフ好きですので、出来るだけ参加します。



第3分区 旭川ロータリークラブ

よしお まさゆき
吉尾 正幸

■飲食業
■1965年1月28日生 ■6月7日入会

諸先輩方より多くを学び、地域貢献に尽力いたします。引き続きご指導宜しくお願ひいたします。



第3分区 旭川ロータリークラブ

こばやし しげこ
小林 茂子

■化粧品卸売
■1951年8月2日生 ■6月14日入会

この度、友人の紹介と後押しで、ロータリークラブという新しい場所に一歩踏み出しました。ご指導よろしくお願ひ致します。



第3分区 旭川ロータリークラブ

たばた りゅういち
田畠 亮一

■造園業
■1976年8月4日生 ■6月21日入会

多くの先輩方に学び、地域貢献に努力して参りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。



第3分区 旭川ロータリークラブ

すがい のりひろ
菅井 謙敬

■クリーニング業
■1979年1月17日生 ■6月21日入会

よろしくお願ひします。
#クリーニング屋 #専門学校非常勤講師 #アパレル #デニム #海外旅行 #映画 #献血 #ビール #ポテトフライ #筋トレ #スケボー #フラワーアレンジメント #風呂



第3分区 旭川ロータリークラブ

やくわ ひであき
八鍬 英昭

■信用金庫
■1964年5月15日生 ■6月21日入会

ロータリークラブに参加することで、諸先輩方から多くを学ばせていただきながら、地域貢献に努めてまいりたいと思っております。どうぞ、宜しくお願ひ致します。趣味はゴルフ、山菜取りです。



第4分区 興部ロータリークラブ

ながさか きょうこ
長坂 恭子

■配管設備
■1956年12月17日生 ■7月1日入会

夫が楽しみにしていたロータリー活動、会社（マルコウ）ともども引継がせていただきます。国内外旅行が大好き！よろしくお願ひいたします。



第6分区 帯広東ロータリークラブ

おおた
太田めぐみ

■飲食業
■1983年8月24日生 ■6月4日入会

趣味はキャンプです。どうぞよろしくお願ひいたします。



第6分区 帯広北ロータリークラブ

なかむら たかし
中村 孝志

■生命保険業
■1968年5月2日生 ■5月10日入会

転勤族で初北海道です。よろしくお願ひ致します。



第7分区 白糠ロータリークラブ

おおやま
大山ゆかり

■信用金庫
■1983年1月31日生 ■6月1日入会

何事も笑顔で頑張ります。
よろしくお願ひいたします。



ロータリー財団寄付者報告

第2分区 名寄ロータリークラブ

名寄RC

寄付月日 2024年6月12日
寄付種類 ポリオ・プラス

第7分区 釧路北ロータリークラブ

さくちみえこ
菊池美恵子

寄付月日 2024年6月27日
寄付種類 MPH F 1回目

第7分区 釧路北ロータリークラブ

いしもり まさひろ
石森 将敬

寄付月日 2024年6月27日
寄付種類 MPH F 1回目

第7分区 釧路北ロータリークラブ

まえ よしゆき
前 義幸

寄付月日 2024年6月27日
寄付種類 PH F

米山功労者報告

第3分区 旭川ロータリークラブ

にっ た まもる
新田 守

寄付月日 2024年6月21日
米山功労者 2回



例会出席率及び会員数推移

2024年6月末報告

分 区	クラブ名		例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
					前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
1	礼	文	2	61	13	13	0	0	0	0
	利	尻	4	93	19	19	0	0	0	0
	利	尻 島	2	20	17	17	0	1	0	0
	天	塩	2	53.33	15	15	0	2	0	0
	豊	富	4	87.5	20	20	0	1	0	0
	稚	内	4	71.1	43	41	-2	2	0	2
	稚	内 南	3	85	36	36	0	1	0	0
		計		67.3	163	161	-2	7	0	2
2	美	深	3	85.19	27	27	0	1	0	0
	枝	幸	4	68.6	26	26	0	0	0	0
	名	寄	4	74.4	55	55	0	1	0	0
	中	頓 別	4	86.5	13	12	-1	0	0	1
	士	別	3	86.82	43	43	0	1	0	0
	計		80.3	164	163	-1	3	0	1	
3	旭	川	4	71.43	74	78	4	5	7	3
	旭	川 東	4	69.45	27	26	-1	0	0	1
	旭	川 北	4	73.94	47	46	-1	1	1	2
	旭	川 南	3	80.25	27	27	0	1	0	0
	旭	川 西	4	71.04	42	41	-1	5	0	1
	旭	川 東 北	3	86.28	17	17	0	1	0	0
	旭	川モーニング	3	92.06	21	21	0	2	0	0
	旭	川 空 港	4	82.9	16	13	-3	2	0	3
	美	瑛	4	54.8	31	31	0	0	0	0
	富	良 野	4	75.6	46	45	-1	3	0	1
	上	川	3	63.33	10	10	0	0	0	0
	2500RE	クラブ	4	72.5	21	21	0	4	0	0
		計		74.5	379	376	-3	24	8	11
4	遠	軽	4	77	44	44	0	2	1	1
	紋	別	3	67.03	30	30	0	0	0	0
	紋	別 港	4	62.83	26	26	0	0	0	0
	興	部	4	71.4	14	14	0	0	0	0
	雄	武	4	79.4	14	14	0	0	0	0
	滝	上	3	77.8	15	15	0	1	0	0
	計		72.6	143	143	0	3	1	1	

分 区	クラブ名		例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
					前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
5	網	走	3	100	58	57	-1	8	0	1
	網	走 西	3	80.57	47	46	-1	0	0	1
	美	幌	4	85.2	52	49	-3	4	0	3
	北	見	4	74.52	58	58	0	9	1	1
	北	見 東	4	80.37	40	37	-3	2	0	3
	北	見 西	3	80.7	61	60	-1	3	0	1
	清	里	3	83.3	30	30	0	0	0	0
	留	辺 薬	3	85.71	22	22	0	1	0	0
	斜	里	4	58.46	29	27	-2	3	0	2
		計		81.0	397	386	-11	30	1	12
6	足	寄	3	72.84	29	29	0	1	0	0
	広	尾	2	47.5	20	20	0	0	0	0
	上	士 幌	3	62	14	14	0	0	0	0
	芽	室	3	80.3	22	22	0	1	0	0
	帯	広	4	61.8	87	85	-2	6	1	3
	帯	広 東	4	81.25	38	38	0	3	1	1
	帯	広 北	4	81.5	63	60	-3	3	1	4
	帯	広 南	3	77.91	66	66	0	8	0	0
	帯	広 西	4	68.58	86	86	0	6	0	0
	音	更	3	71.4	41	40	-1	5	0	1
清	水	5	60.26	18	18	0	2	0	0	
	計		69.6	484	478	-6	35	3	9	
7	釧	路	4	62.9	103	101	-2	0	0	2
	釧	路 東	3	66	31	31	0	0	0	0
	釧	路 北	4	77	79	79	0	5	0	0
		(サテライト)			27	27	0	9	0	0
	釧	路 南	3	70	27	25	-2	3	0	2
	釧	路 西	2	68	28	27	-1	1	0	1
	釧	路 ベイ	3	78	20	20	0	2	0	0
	音	別	4	76	15	15	0	0	0	0
白	糠	4	79.5	11	11	0	1	0	0	
	計		72.2	341	336	-5	21	0	5	
8	厚	岸	3	76.9	14	13	-1	0	0	1
	別	海	4	57.5	10	10	0	0	0	0
	浜	中	4	67	11	11	0	1	0	0
	中	標 津	3	56.8	42	43	1	4	1	0
	根	室	3	60.4	32	32	0	0	0	0
	根	室 西	4	78.28	49	47	-2	1	0	2
	弟	子 屈	2	72.4	16	16	0	1	0	0
	計		67.0	174	172	-2	7	1	3	
	総 計		73.0	2,245	2,215	-30	130	14	44	

第2500地区 全65クラブ	前月末会員数	当月末会員数	増 減	平均出席率
		2,245人	2,215人	-30人
女性会員数	130人	130人	0人	



2023-2024年度
国際ロータリー第2500地区

ガバナー事務所

〒094-0007 北海道紋別市落石町4丁目19-5

TEL / 0158-28-8280 FAX / 0158-28-8281

Mail / 2023-2024_governor-office@rid2500.jp

公式WEBサイト / <https://2023-2024.rid2500.jp/>

公式facebook / <https://facebook.com/rid2500/>

下記QRコードから
アクセスできます



WEBサイト



facebook